

2005年
1月 No.267

SINCE 1977

発行所/〒380-0813 長野市緑町1714-5
長野市ボランティアセンター内
Tel:026-227-3707 Fax:026-224-1513
<http://www.vnetnagano.or.jp>
E-mail:volucen@vnetnagano.or.jp

ボランティア かわらばん



編集発行 ながのボランティアかわらばん編集委員会



協働と
ネットワークで
もっと大きく
もっと広く

学校に地域の人々の
力を導入する

長野市教育委員会
学校教育課長 水野守也氏

取材/丸山いづみ



Q 小中学校は現在どのような面で
ボランティアの力を
借りていますか。

本当にいろいろな場面で助けていただいているのですが、おおまかに五つに分けられると思います。

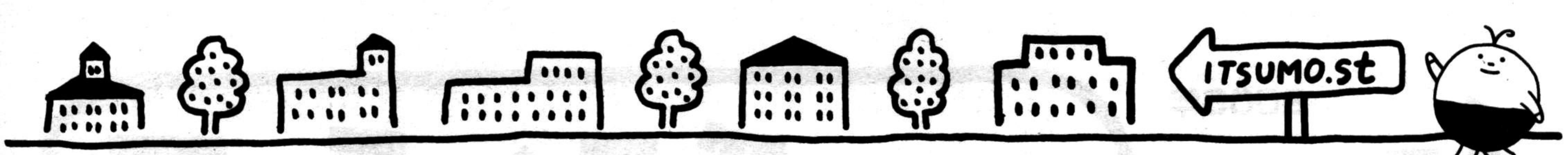
一つ目は、**講師**になっていたりだと思います。専門的な知識を活かした講演会、進路の講演会、ものづくりや昔の遊びの講師など。具体的には、紙すき、竹細工、郷土の歴史、和太鼓など本当にいろいろなことを教えていただいているます。

二つ目は、**心の育成**における支援ボランティアです。本の読み聞かせや、高齢者との交流会の場所や人の支援。

三つ目は、**学校環境整備**の支援。例をあげると花を植えていたぐ、学校行事のお手伝いや図書の整理などがあります。

四つ目は、**生徒指導**でのボランティア。中間教室のメンタルフレンドになつていただくことなども考えられますが、これは今後の課題ですね。

最後は、**登下校の安全確保**です。交通の危険箇所に立つ、ステッカーをつけた自転車や自動車で防犯パトロールをするなどです。



長野市の中学校とボランティアとの
関係を見て、どのような感想を
お持ちですか。

学校（地域）の個性を出そうとした場合に、地域の方に入つていただいくことがもつとも多いようですね。総合学習などで地域について学ぶには、教員だけでは力が及ばない場面も出てくるのでしょうか。おかげさまで子どもが、より深く理解できていると思います。

Q
新しい年を迎えて、
ボランティアにどのようなことを
期待されていますか。

登下校の安全確保がますます重要な課題となっています。昨年12月古牧地区の小中学校やPTA、区長会、防犯協会などが「古牧地区子どもと地域を守る安全推進連絡会」を発足させました。このような防犯面で、地域の各組織の連携を期待します。また、学校ボランティアは学校についても十分理解していただくことが大切で、子どもたちにとってよりよい支援となるよう、地域の方々と一緒に進めていきたいと思います。

地域とネットとして 自主防犯をめざす



長野県警察本部
生活安全企画課

取材／込山哲也

長野県警察本部生活安全企画課から「ボランティアと協働することによってできること」の中で特

に「防犯」について、お話しをお聞きました。

まず、防犯の基本は**自主防犯**です。防犯意識を啓発することによって犯罪の被害を防げる自主防犯、例えば、自転車の施錠や家の戸締りなどは、犯罪から身を守る手段として基本的で、もつとも手取り早い自主防犯活動です。**地域や防犯ボランティア団体**の活動としては、愛犬家による「わんわんパトロール」や「子どもを守る安心の家」の設置、郵便配達車、警備会社、一部のタクシー車両の運転手による「こども110番の車」などが、すでにスタートして、子どもを守る活動を行っています。また、**ガソリンスタンド**でも、「まちの安心ステーション110」として防犯活動を行っています。

地域の防犯協会では、街頭での警戒・パトロールを行つたり、子どもが犠牲となる犯罪から身を守るために、子どもたちに簡単に理解してもらえるように紙芝居を見せたり、

高齢者を狙った悪質商法や、「オレオレ詐欺」・「架空請求詐欺」などの「振り込め詐欺」の防止のために、「必ず家族や警察に相談する」といった注意喚起の声かけを行っています。

個人として出来る防犯ボランティアもあります。

地域で子どもへの声かけ事案が発生していれば、早朝に散歩している人が、子どもたちの登下校の時間帯に合わせるだけで「防犯に役立つ散歩」に行きます。また、見慣れない人がいれば「声かけ」を行うだけでも、防犯につながります。最近は、携帯電話が普及していますので、携帯電話のカメラ機能を使って不審者や不審車両のナンバーなどを撮り、不審者情報を提供してもらうことも防犯上たいへん役立ちます。

日常の中でも、防犯に関したこと話を題にするなどして、注意喚起することが防犯意識を高め、防犯ボランティアにつながるものと考えます。例

えば、商店を営んでおられる方が、お客様に「車上ねらいがあったのでご注意下さい」と声かけを行つたり、店内放送を定期的にアナウンスすることも防犯意識を高め、防犯ボランティアにつながります。

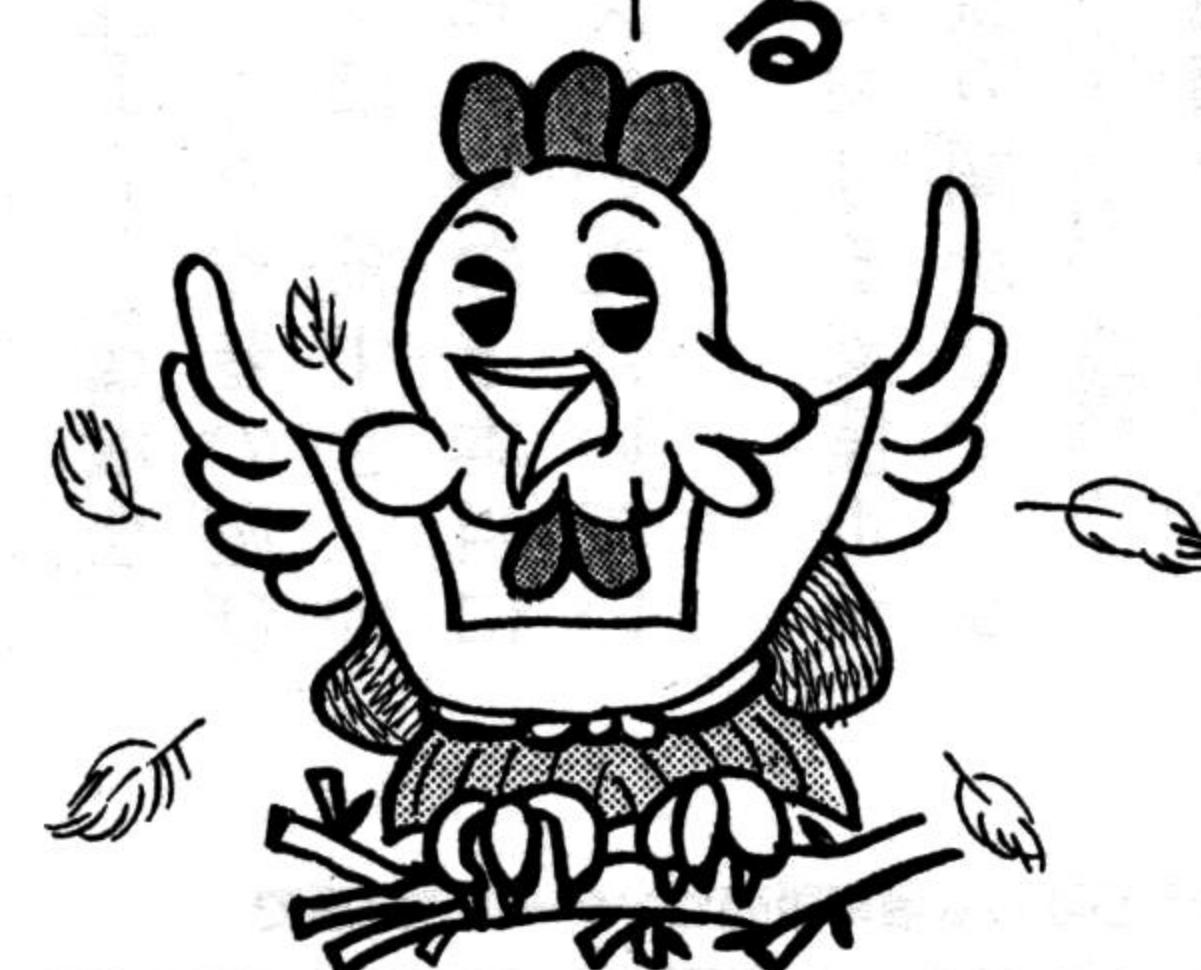
こうした普段の生活の中で、「地域の安全のために自分として役立つことはないか」と視点を変え、行動することが地域の安全に役立つのです。ボランティアは、楽しく、気長に、気負いなく、ひまな時間をつかって、「人の役に立ちたい」という気持ちを持ち、出来ることからはじめることが何よりも大切だと思います。

いま優良企業は ボラに力を入れる

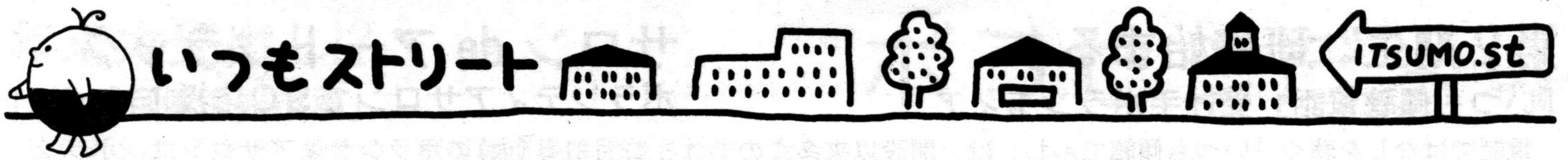
長野県経営者協会
岡村重信氏

取材／宮澤久美子

Q
どのようなボランティア活動を
されているのですか。



岡村さん● 現在、私たち長野県経営者協会では、長野県社会福祉協議会、長野県NPOセンターとともに、厚生労働省より委託を受けて「勤労者マルチライフ支援事業」を行なっています。この事業は退職者を含む勤労者のボランティア活動を推進するものです。平成13年度から始まり、長野県は現在5年計画の4年目です。仕事を持つている人、特に男性は生活の場が職場だけという人が多い。そこでボランティア活動に参加することにより、在職中から地域とつながり視野を広げ、仕事



Q ボランティア活動の内容を具体的に教えてください。

岡村さん● 意欲のある人にボランティア体験のチャンスを提供し、あわせて企業側には社員がボランティアをしやすい環境の整備を求めてています。また、企業のボランティア担当者が集まり各企業のボランティア活動状況の報告、意見交換を行なうネットワーク会議や、企業とNPO団体が相互理解を深めるためのセミナーの開催などを行なっています。

実際には、企業方針や担当者によつてボランティアに対する意識に温度差があり、支援事業の裾野を広げていくのはなかなか難しい。その一方で、このような取り組みがきっかけとなり、地域のみなさんとも協力して盛んな活動が行なわれているところもあり、成果があらわれています。

病院ボラの要点は 認識を一にすること

長野医療生活協同組合
柳町くにえ総婦長
勝田祝子▽委員長



Q ボランティア活動者の受け入れ状況は?

岡村さん● 昔は、従業員が多くて税金をたくさん納めている会社が優良企業と見られていた。しかし、最近では環境に良い製品を作つたり、障害者や外国人が働きやすい会社が評価されており、社会全体の意識が変化していますね。企業側にも社会貢献の重要性の意識が根付いてきています。

Q 厚労省からの委託が残り一年となりました。今後どんなことに重点をおいて事業を進めていきますか。

Q ボランティア活動者へのフォローアップは?

医療生活協同組合の社会貢献活動として将来、看護士を目指す学生をボランティアとして受け入れている。また大人の方には中央病院独自のボランティアとしてではなく、医療生活協同組合のボランティア委員として活動に来てもらっている。

なく、地域住民の方や地区社協、ボランティアセンターの方にもぜひ参加をしていただきたいと思つています。連携のしくみができあがれば、協働により活動が広がりもつと大きな力が発揮できるでしょう。昨年の中越地震でも多くの企業が支援を行ないましたが、災害などの緊急時にも横のネットワークができるいると、より迅速で効果的な支援が行なえると思います。

勤労者ボランティア情報サイト
<http://www.volunteer-net.jp/>
「勤労者ボランティア情報サイト」

Q 医療機関での活動受け入れで難しさを痛感するのはどんな点ですか?

一般市民への私たちのアピールが足りない面もあるが、長野中央病院というのは、長野医療生活協同組合の中の一つの事業所であるということ。従つて当院で活動しているボランティアは、実は長野医療生協協同組合へ出資している協同経営者として位置づけています。このためシーツたたみやガーゼたたみなども、よりよい病院の運営のためのもので、病院スタッフと同じ立場で一緒に経営しているという意識を持ちながら活動をしている。この点で外部からのボランティアとの意識の差が生じるので、いかに共通認識をもつて活動してもらうか、が課題であると考えている。

Q 新年度への抱負をお聞かせください。

今年、初めて長野市ボランティアセンターへボランティア募集のチラシを置き、外へ向かつて自分たちのメッセージを発信した。その結果、既存のボランティアグループから問合せがくるなど、連携という面が出てきたように思う。しかし、外部とのネットワークを持つボランティアアドバイザーや活動のコーディネーターの配置が手付かずのままとなつていて、病院・ボランティア、職員の中でそれぞれコーディネーターの必要性を痛感しており、来年度は一般市民へ向けてメッセージを発しつつ、これら的人的配置も考えていきたい。

岡村さん● みんなが連携できるシステムづくりです。次回のネットワーク会議では企業側だけで

各支部ごとにボランティア委員がいるが、機能している支部もあるためボランティア学校を開催している。病院スタッフが講師になるほか、ボ

第2期生 研修始まる！

「いつも傾聴電話」受け手ボランティア

電話ではなしを聞く「いつも傾聴でんわ」は、開設以来多くの方にご利用されてお蔭様で一年がたちました。現在のでんわ受け手ボランティアが研修を続けながら活動をする一方で、第2期生の養成研修が12月6日(月)から始まりました。研修生は昨年9月からの傾聴講座の受講を終了された方々で、半年間の研修後今年の秋ごろには受け手ボランティアとして活動していただきます。

現在、「いつも傾聴でんわ」は毎週、月・土曜日(14時~18時)、水曜日(14時~21時)に電話受付をしていますので、どうぞお気軽におしゃべりや愚痴、また受け手ボランティアへの激励など何でも掛けてみてください。TEL 026-225-0404

さらに磨きをかけて！

ボランティアアドバイザー定例会がスタート

16年度のボランティアアドバイザー養成講座終了後、アドバイザーの活動把握や、抱える相談や対応をみんなで検討しながら学習しようと、定例会を開催することになりました。

アドバイザーの活動拠点となる地域や施設、団体内でのアドバイザーとしての動きを、活動記録カードに記録しその事例を検討します。一人では考え付かないような発想や情報を、みんなで提供しながら1つの相談から発した事柄が大きく大きく膨らんでいきます。そして、そこで出た情報やアイデアを自分の拠点に持ち帰り、情報発信をしていきます。こうした市民一人一人の些細な疑問や相談に、ボランティアアドバイザーの動きが大きな役目を果たしていくことを願っています。

グリーンノート

シクラメンのかほり



写真：白と濃いピンクの2色咲き、華やかさと落ち着きのある雰囲気が和室にも合う

グリーンクラブ 勝永

夏越しの株の花つきが悪く、今シーズンもシクラメンを数株買い求めました。和名『カガリビバナ』はその名のとおり暖かを感じます。フリンジ咲き、2色咲き、八重咲き、ミニタイプなどそれはそれは種類が豊富です。私が気になるのは芳香品種、これは咲いている時も楽しめますが、その後花のポプリを作るんです。花弁の5枚がひらひらときれいな薄絹のような仕上がりです。かほりは…ふんわりと柔らかではかなげ。

鳥にちゃんとひと言。
今や様々な分野でヘルパーが多く出てきています。介護保険事業や最近では酪農の分野でのヘルパーも出てきています。実は鳥の世界にもヘルパーがいます。バンという水鶴の仲間の鳥です。バンと一緒に親の給仕を手伝うのです。普通は親が一生懸命雛を育てるのですが、このバンという鳥は巣立った若鶴が親の代わりに餌を与えて防衛もあります。おかげで親の負担も軽減されます。ふと考へれば、ひと昔前の日本にもこんな光景があつたように思います。

スタッフ日記

今年の干支は酉ということでお

鳥にちゃんとひと言。

今や様々な分野でヘルパーが

多く出てきています。介護保険

事業や最近では酪農の分野での

ヘルパーも出てきています。実

は鳥の世界にもヘルパーがいま

す。バンという水鶴の仲間の鳥

です。子育ての時に親の給仕を手伝うのです。普通は親が一生懸命

雛を育てるのですが、このバン

という鳥は巣立った若鶴が親の

代わりに餌を与え、防衛にもあ

ります。おかげで親の負担も

軽減されます。ふと考へれば、

ひと昔前の日本にもこんな光景

サロン de アートフラッグ

ボランティアサロンでSO応援！

12月21日(火)のボランティアサロンは、ボランティアセンターでスペシャルオリンピックスを応援しよう！ということで「アートフラッグ」を作成しました。それぞれユニークな人形(ひとがた)をとり、思い思いの色をぬって出来上がり。なんともシンプルな作業ですが皆さん楽しんでらっしゃった様子でした。



アートフラッグムーブメントを主催している県社協では、スペシャルオリンピックスの期間中には長野市内各所に集まつたアートフラッグを飾ること。自分で作成したフラッグを探すのも楽しみですね。

今回のアートフラッグの作成については、ながのボランティア・市民活動支援ネットワークを通してクリーニング工房CoCo(知的障害者福祉工場)さんよりシーツを、また三陽中学校、個人の方よりアクリル絵の具と刷毛、ローラーなどを寄せいただきました。ありがとうございました。

次回のボランティアサロンは1月26日(水)、2月16日(水)に、ふれあい福祉センターで行います。ボランティアを始めてみたいという方は是非ご参加ください。

そうちの会

グループ名
森のボランティア

第37回

彩の会

ぞうちの会

リフレッシュプラザの親子ぞうり教室に参加した仲間で、平成10年に発足。ぞうちを作るときに使う「ぞくなし」は、男性会員の手作りです。毎月第3月曜日にプラザや夢工房等で活動中。又、会員の有志は、毎月第1金曜日、川中島集会所で皆さんと研究会を行っています。不要になった布団地、

社協等の要請も多く、鬼無里、阿智村と長野県を北へ南へ指導、交流に出かけています。

紹介者 彩の会

最近はシンプルなぞうちだけではなく、スリッパ型にも挑戦。学校、智村と長野県を北へ南へ指導、交流に出かけています。

今日も楽しいおしゃべりと布を裂くりズミカルな音の中、積極的に活動するぞうちの会、15人の皆

裁断端布などが素敵なぞうちで販売中！
まれ変わり、プラザで常時300円で販売中！

年末大卖出し!?

12月「月例情報市場」

12/15(水)に平成16年最後の月例情報市場が開催されました。名刺交換から始まり、情報交換会では多くの方から耳寄りな情報を提供していただきました。また、数多くの物品の提供もあり、年末の市場らしい活気あふれる盛りだくさんの内容となりました。

今後新たな展開を計画しているグループの皆さんには「支えあい応援金」のお知らせも要チェックです。詳しくはボランティアセンターのホームページをご覧下さい。



新潟県中越地震から2ヶ月が経つて

災害支援委員会近況報告

10/23(土)に新潟中越地方を襲った大地震から2ヶ月が経ちました。その間、炊き出しを始めとする様々な支援活動を行ってきました。現在は被災地もだいぶ落ち着いてきた状態で、ボランティアの活動要請も少なくなっていました。

そのような状況を踏まえ、災害救援委員会として、今後は義援金による支援活動を実施していくことになりました。現在、皆様の善意で集められた義援金が40万円余りになりましたので、1月中には被災地に届けに行く予定です。また今回の救援活動で物資や人材による協力をしていただいた支援企業に対しても感謝状を送りたいと考えています。

ボラセニだよ!

ボランティアセンター運営委員会 縁の下の力持ち!

様々な事業を開拓しているボランティアセンターですが、その裏には「ボランティアセンター運営委員会」という強力なサポートチームがあることをご存知でしょうか?

フリージャーナリストの内山二郎氏を委員長に、各方面で活躍される20名の方が委員になっていました。定期的に開催される運営委員会では、ボランティアセンターの事業について検討するのはもちろんですが、現在のボランティアの状況やそれをとりまく社会情勢などについて広く議論をしています。

性をお持ちの面々ですので、事業担当者にとっては大変頼もしい反面、怖い存在でもあります(笑)。そんな運営委員の方々と知恵を絞りながら、ニーズに即した事業を展開していきますので、今年もよろしくお願いします。

障害者施設の指導員さんから相談がありました。入所している男性の方の外出付き添いボランティアを募集したいが、どうしたらいいだろうか。

以前は杖を利用し、一人で外出できていた方だったが、だんだん一人の外出は危険になってきた。現在、施設内は杖での移動、外出は車椅子利用をすすめている。映画が好きで、仕事が休みの週末となると映画館へ足を運んでいたが、車椅子になると今までのように一人で気軽に外出ができなくなってしまう。どなたか

介助しながら映画やコンサートと一緒にに行ってくれる人はいないだろうか。介助ボラという観点からではなく、映画やコンサートに一緒に行く仲間を募るような考え方で探していくたらどうでしょうか。できれば施設がある地域内で呼びかけをしたり、その施設自体を応援するようなボランティアを募る養成講座を開催することも考えてみたらどうでしょうか。施設の中には他にも同じような二三人がきっとあると思います。

今回のケースも含め、ボランティア養成講座の組み立て等について、当センターもお手伝いさせていただきたいと思います。

※その後ボランティアセンターのボランティア募集関係で呼びかけたところ、映画やコンサートと一緒に行く方が何人かみつかり、今月中に顔合わせの予定です。

長野市ボランティアセンター 12月の相談現場



現場状況 12月分

相談件数	
ボランティアしたい	19 件
ボランティア求む	19 件
情報求む	27 件
ボランティア活動支援	16 件
ボランティア活動上の悩み	2 件
よろず相談・悩みごと	21 件
ボランティア保険・事故処理	0 件
その他	5 件
合計	109 件

問い合わせ件数	
会議室予約	200 件
伝言	132 件
情報提供	291 件
機材貸し出し	115 件
チラシ・掲示板	79 件
その他	245 件
受付(よりいい会等)	746 件
合計	1808 件

(取りまとめ期間:12月1日~12月28日)	
情報カード受付	32 件
機材貸し出し	18 件 130 ヶ
ボランティア保険加入	
ボランティア活動保険	17 件
行事用保険	6 件
在宅福祉サービス総合保険	0 件
送迎サービス補償保険	0 件
合計	23 件

情報がわらばん

催し

1月の月例情報市場 どなたでもご参加できます

企業・NPO・ボランティアグループ 相互の物品・資源・情報の交換会。参加費無料
日時:1月19日(水)15:30~17:00
場所:ふれあい福祉センター

問:ながのボランティア・市民活動支援
ネットワーク Tel 026-227-3707

催し

冬の催し物の お知らせ

①冬のあそび広場 テーマは『食』
もみすり体験やわら苞納豆作り、
小児科医や栄養士等専門家による
相談会有。
日時:1月23日(日)10:00~15:00
場所:ふれあい福祉センター4.5F
②グリーンファームの会「自然あそび広場」
日 時:2月26日(土)10:00~14:00
参加費:¥100
場 所:グリーンファーム(川中島四ツ屋)
※②の申込は下記事務所へFaxか葉書でお願いします。

問:ながのこどもの城いきいきプロジェクト
Tel/Fax 026-225-5467
〒380-0837

長野市大字南長野新田町1485-1
もんぜんぶら座こども広場
じゃん・けん・ぽん

催し

初心者のための ボランティアサロン

ボランティアって何?やってみたいんだけど何からやっていいのか分からぬ。そんな貴方、実際の活動者の話から、活動のヒントを見つけてみませんか?参加費無料。

日時:1月26日・2月16日(水)
14:00~15:00

場所:長野市ふれあい福祉センター1F
問:長野市ボランティアセンター サロン係
Tel 026-227-3707/Fax 224-1513

情報

感謝の気持ちを 花束で…

何本でもご注文に応じ対応可。H17.

3月迄。チューリップ 1本¥100

問:(社)長野若柳園コロニーライフ
Tel 026-296-1415(代)

催し

親子みんなで ふれあいスキー

日 時:2月5日(土)~6日(日)
場 所:峰の原高原スキー場
参加費:小学生以下¥6,500
中学生以上¥7,500

問:須坂青年の家 金井
Tel 0268-74-3017

催し

第143回つぼで 家族の健康づくり

講演:「呆け老人をかかえる家族
の思い」
講師:呆け老人をかかえる家族の
会長野県支部代表 関靖氏
他「中高年の転倒、骨折予防の筋
力アップとつぼ」/質疑応答有。
日時:1月25日(火)※締切1月23日
場所:西部保健センター/参加費:無料
問:鍼灸ピクリーサポート21会 近藤
Tel 026-228-8730

催し

市民公開講座

十代の生と死

大切な子供の命を守るために、私
達に何ができるか、共に考え学び
たいと思います。参加費無料。

日時:1月23日(日)13:00~16:30

場所:長野県社会福祉総合センター

問:(社)日本女医会

Tel 03-3498-0571/Fax 3498-8769

催し

ささえあい応援金

公開プレゼンテーション

長野市を中心に活動を展開して
いる、もしくは展開しようとする団
体が一同に会し助成金獲得を目指
してプレゼンテーションを展開!日時:
3月13日(日)13:00~

場所:ふれあい福祉センター5Fホール

問:ながのボランティア・市民活動支援
ネットワーク

Tel 026-227-3707/Fax 224-1513

催し

もっと知りたい善光寺 のいろは

日 時:1月27日(木)/2月10日(木)
13:30~15:30
場 所:両日とも篠ノ井公民館
講 師:宮坂勝彦氏
参加費無料/要約筆記有
問:篠ノ井公民館 坂田
Tel 026-292-2121/Fax 299-6834

催し

第3回 福祉の職場説明会

福祉の職場への就職希望者及び福
祉職場について知りたい方、資格
について知りたい方等対象。

日時:2月14日(月)13:00~16:00

場所:メルパルクNAGANO 3F白鳳

参加費無料

問:長野県福祉人材研修センター
Tel 026-226-7330/Fax 291-5180

催し

無料法律相談

お気軽にご相談ください

日時:1月24日(月)13:00~17:00
場 所:県内の協力法律事務所
予約受付:1月11日~21日
10:00~16:00
予約受付電話:026-232-2104
問:(財)法律扶助協会
Tel 03-3581-6941

催し

介護福祉士受験の ための勉強会

日 時:1月14・21・28日(金)
場 所:ボランティア交流センターながの
参加費:¥200(資料代)
問:まごころ福祉サービス山田
Tel/Fax 026-295-9358

催し

第6回ちきり音楽祭 南こうせつがやってくる!

◆ちきり音楽祭パート1

日 時:2月12日(土)13:00開場

場 所:長野県民文化会館小ホール

出 演:和太鼓「ちんどん」津軽三
味線演奏/友情出演 茜

参加費:一般¥500

小~高校生/障害者 ¥300

◆ちきり音楽祭パート2

南こうせつコンサート

日 時:3月9日(水)18:00開場

場 所:長野県民文化会館中ホール

参加費:前売り¥5,500~

問:ワーカハウスちきり

Tel 026-263-4059/Fax 263-4090

情報かわらばん

情報 いつも傾聴でんわ

話することでちょっと気が軽くなるかもしれない。貴方からのお電話待ってます

TEL 026-225-0404

月・土 14:00~18:00

水 14:00~21:00

問:長野市ボランティアセンター

いつも傾聴でんわ係

TEL 026-227-3707

情報 点字カレンダーを販売します

点字と点図を駆使した視覚障害の有無に関わらず使えるカレンダーを販売。A5版、卓上・壁掛け兼用￥500

問:視覚障害者支援総合センター

TEL 03-5310-5051

情報 ご存知ですか?

私たちのことをボランティアによる電話相談を通じて、事件・事故・災害などによる被害者やその家族、遺族の心に寄り添い、被害者達が抱えている悩みの解決や心のケアなどに努めます。警察や裁判所などへの付添い支援も展開中。

相談電話:026-233-7830

火・金曜15:00~19:00

(祭日・年末年始除)

問:長野犯罪被害者支援

センター TEL 026-233-7847

催し 新しい出会い!

第24回ゆきの学校

障害の有無や年齢に関係なく、多くの友人たちと会える「雪の学校」。この冬新しい出会いがきっとある!

日時:2月12日日~13日

場所:戸隠村越水

問:長野市社会福祉協議会

長野市ボランティアセンター内

「雪の学校実行委員会」

TEL:227-3707 fax 224-1513

催し ボランティア養成講座 自閉症って何?

自閉症はやけじゃない!

日時:1月29日(土)

13:30~15:30

場所:若里市民文化ホール

参加費無料/当日参加可

問:自閉症施設あおぞら

TEL 026-253-1299

Fax 253-5122

催し アルコール関連問題 研修会

ネットワークの中で一人でも多くの苦しむ方の回復を信じていきましょう。

日時:2月16日(水)

10:00~15:30

場所:長野県衛生部若里

庁舎 長野県医師

会4F大会議室

締切:2月7日(月)

問:長野県精神保健福祉
センター TEL 026-227-1810

催し 松代社協から のお知らせ

◆松代地域福祉大会

寺尾小学校6年生による総合学習の発表、富永房枝氏の演奏とトーク等

日時:2月5日(土)13:00

場所:サンホールマツシロ

◆点字はじめの一歩

日時:1月26日(水)

13:30~15:30

場所:松代支所2F会議室

問:松代ボランティア室

TEL 026-278-9580

情報 お酒をやめたい あなたのためには

毎週各地域で断酒例会が開催されています。

詳しい日時や場所等お問合せください。

問:長野県断酒連合会
事務局

TEL 0265-94-2017

情報

助成金情報

◆ささえあい応援金パート2(締切:2月10日)

長野市を中心に活動を展開している、若しくは展開予定のNPO・ボランティアグループ・市民活動グループが対象。申請団体は3月13日(日)開催予定の公開プレゼンテーションへ出席すること。総額は60万円。

問:ながのボランティア・市民活動支援ネットワーク

TEL 026-227-3707/Fax 224-1513

◆障害者市民「防災まちづくりアデア・コンテスト」大募集!

障害者市民が突然の災害時においても安心して活動できるための、実践を始めた取り組み例、もしくは実現可能な事例であること。締切2005年2月28日(月)

問:NPO法人【ゆめ・風基金】事務局 TEL 06-6324-7702

◆藤田記念まちづくり企画支援事業(締切2月28日)

地域住民や企業・専門家やその団体、行政等による創意溢れるまちづくりの企画を支援。対象制限無。

問:(社)再開発コーディネーター協会総務課 TEL 03-3437-0261

◆市民青少年交流助成プログラム(締切H17.6月1日)

日本と海外の市民レベルにおける相互理解を促進する為、日本の団体が実施又は参加する事業に対し旅費の一部を助成。

問:独立行政法人国際交流基金文化事業部市民年
青少交流課 TEL/Fax 03-5562-3532

◆冠婚葬祭ネットワーク 社会貢献基金制度(締切2月末日)

地域の種々の災害の救済、社会福祉・環境保全事業、国際協力など社会貢献活動を行う各種団体、社会貢献に資する調査・研究を目的とした事業。

問:(社)全日本冠婚葬祭互助協会事務局
社会貢献基金助成公募 受付係 TEL 03-3433-4415

情報

FMぜんこうじ1月の出演者は?

毎週(木) 12:45~55 <76.5MHz>

6日 長野市ボランティアセンターより

いつも傾聴でんわのお知らせ

13日 松代ふれあい交流ひろばより

新規オープンのお知らせ

20日 ワークハウスちきりよりちきり音楽祭のお知らせ

※出演者募集中です。ご連絡ください。

催し

みんなで楽しく新年会!

学生が開くお茶のみサロン

信大の学生が企画する交流サークル「ひだまりの会」の第3回お茶のみサロンは「新年会」です。参加者の年齢性別問いません。みんな待ってま~す。

日時:1月17日(月) 17:00~19:00

場所:ふれあい福祉センター

問:ひだまりの会 錦崎 TEL 070-6665-5663

出会いをつくる 新鮮!! 情報紙

求む!

ボランティア

がわらばん

1月
No.267

ボランティア
かわらばん

ながのボランティアかわらばん編集委員会

発行所／〒380-0813 長野市緑町1714-5 長野市ボランティアセンター内
Tel:026-227-3707 Fax:026-224-1513 <http://www.vnetnagano.or.jp>
E-mail:volucen@vnetnagano.or.jp

求む

雪かきボランティア 地域お助け隊

地域で暮らす高齢者や障害者が冬、一番困るのが『雪かき』です。誰もが安心して暮らせる長野市の実現に、貴方のお力を貸して下さい。

問:長野市ボランティアセンター
TEL 026-227-3707

求む

フレンドリーキット 募集のお知らせ

あなたの好きな花を一枚の布に描いてみませんか?H17
5月1日~5日迄開催予定のながの花フェスタ2005へ出展します。
講習会:1月22日(土)13:00~
ふれあい福祉センター
1月29日(土)10:00~
もんぜんぶら座

問:南石堂町商店街振興組合
小渕 TEL 026-228-0294

求む

信州ほっこり村 村民募集

古民家を使って宅老所やみんなの家を手作りする団体です。私達と一緒に活動する村民を大募集中!

問:信州ほっこり村 飯島
ryuichi33@m5.dion.ne.jp

◆次回かわらばんは2月3日(木)発行予定。掲載希望団体は1月20日(木)迄に原稿をお寄せ下さい。

◆ボランティアかわらばん掲載記事を転載される場合は情報提供致しまでのご連絡ください。

長野市ボランティアセンター
TEL 026-227-3707/Fax 224-1513

◆かわらばんで取り上げたいテーマや、感想をお寄せください。

また、一緒に編集や取材をするボランティアスタッフを募集しております。

問:長野市ボランティアセンター
かわらばん編集委員会
TEL 026-227-3707/Fax 224-1513

求む

2005スペシャルオリンピックス応援企画 アートフラッグ展示ボラ

いよいよスペシャルオリンピックスが近づいてきました。2005枚のフラッグを市内のいたるところに展示します。ぜひ皆さんの手でアートフラッグメントを成功させよう。

日時:1月25, 26, 27日
場所:権堂秋葉神社

問:長野県社会福祉協議会
ボランティア市民活動振興センター 宮下
TEL 026-226-1882

求む

長野県ボランティア・市民活動研究集会実行委員の募集について

本会では新しい時代を迎えたボランティア・市民活動の現状と課題を学びあう為に標記研究集会を企画。広く実行委員を県内から募集します。

◆長野県ボランティア・市民活動研究集会
日時:H17 3月を予定

問:長野県ボランティア・市民活動振興センター
長峰 TEL 026-226-1882

求む

ナイスハートバザールin長野 ボランティア募集

障害者施設の自主製品の販売・売会を開催します。障害者関連に関心ある方、力仕事が得意な方求む。

日時:1月23日(日)18:30~21:00

1月24日(月)~26日(水)
10:00~18:00

場所:長野東急新館シェルシェ

問:NPO法人長野県セルフセンター 加藤
TEL 026-291-8280

求む

情報お届けボラ

長野市ボランティアセンターの情報を市内コンビニ、街中掲示板に届けませんか。

月1回~2回

場所:自分の地域の掲示板、コンビニ
問:長野市ボランティアセンター TEL 026-227-370

書き損じ葉書集めてます!

書き損じハガキや、余った年賀状等をご寄付ください。長野市のボランティア活動支援に役立てます。

問:長野市ボランティアセンター TEL 026-227-3707/Fax 224-1513 長野市大字緑町1714-5 長野市ふれあい福祉センター1F